



やまちゅう進路だより

吹田市立山田中学校 第3学年

先日の進路総合で、「ダイヤモンドランキング」というものに取り組みました。自分の中で高校選びについて、「これは譲れない」というものと、「ここはそんなに重要視しないかな」というものに分けて、優先順位をつけるという取り組みでした。全て自分の思い通りの学校というのはなかなかありません。現実を見て、妥協しなければならないところも出てきます。だからこそ、ここだけは大事にしたいというこだわりたいポイントを考えることが重要です。

逆に言うと、自分の中で最重要と思っていることが叶わない学校は選択肢から外れます。そうやって、候補を絞っていくことで、自分の行きたい学校が見えてきます。1学期の間にしなければいけないのは、「説明会に行く学校を考える」ということです。たくさんの学校がある中で、自分が候補として入るところをしっかりと見に行けるようにしてください。もしよかったら、保護者の方とも一緒に、「ダイヤモンドランキング」について話し合ってみてください！

ダイヤモンドランキング

- | | | |
|-----------|-----------|----------------------|
| A.学力・偏差値 | B.部活動 | C.公立か私立か |
| D.進学・就職実績 | E.通学方法・時間 | F.学科や学べる内容 |
| G.校則・制服 | H.設備・環境 | I.行事（修学旅行・文化祭・体育祭など） |

1

2

3

4

5

6

7

8

9

高校の説明会に行く際の注意点

例年、同じような学力層の高校の説明会にはたくさん行ったものの、結局その学力に届かずに、最終決めるときに、説明会に行けていない高校から考えなければならない、という状況に陥る生徒がいます。

わかりやすく例えると、茨木・豊中・春日丘の見学会には行った。だが、自分の学力的には届きそうにない。他の学校は見に行っていない。その3校の中からチャレンジするのか、合格の可能性が高い学校を探しなおすのか…

これはどの学力層の生徒にも言えることです。そうならないように、**幅広い学力層の学校に行っておくことをオススメ**します。

自分の学力がどれくらい伸びるかは誰にもわかりません。とんでもない伸びをする人もいれば、すごく頑張ったけどあまり伸びなかったという人もいます。だからこそ、「勉強頑張ってここに行きたいな」という高校だけでなく、「勉強にゆとりを持てる高校」も見に行っておくべきです。最終的には、学力だけで決めるべきではありませんが、合格しないと入学はできません。

何度も言いますが「どこに行くか」ではなく「高校で何を学ぶか、どんな人間になっていくか」が重要です。その視点は忘れずに！

懇談の前に

よく1学期の懇談で、「自分はどこの高校に行けますか?」「自分に合う高校はどこですか?」というような質問がありますが、実力テストを受けていない限りは、判断材料がないのでお答えできません。実力テストもあくまでも目安なので、「この点だから〇〇高校は行けるけど△△高校は無理」ということも言えません。入試に絶対はないのでわからないというのが現状です。自分に合う高校というのも先生たちには判断できません。1学期の懇談では、「将来こんなことをしたい」「高校でこんなことが学びたい」「夏休みこれを頑張ろう」という話をできたらと思います！